

東村山市民新聞



2019年
春
号外



唐まじい人権派弁護士やウイグル人への弾圧

人権侵害する中国政府を大歓迎

そして被收容者を臓器移植ドナーにしている疑いまでも…

「人権の森構想」実現は口先だけ

私(矢野)は3月議会の一般質問で、東村山市が東京オリンピックの、中国の卓球とサッカーチームの「事前キャンプ」を市内で行なう協定を中国と結んだことに問題があるとして取り上げました。

国際的にも非難されている 中国政府の人権侵害

人権派弁護士の王全璋氏は中国政府によって2015年来、長期間拘束され、今年1月28日に「国家転覆罪」で禁固刑4年半、また5年の政治的権利剥奪を言い渡され、なお拘束されています。

また中国では現在数百万人のウイグル人が大規模に強制收容所に入れられ、彼らに対して凄まじい拷問、虐待、殺害、洗脳教育が行なわれています。その中には、中国のサッカー

コ、マレーシアなどの国や国際機関も公式に批判しています。渡部市長は、これらのウイグル人大弾圧の事実を議会でも知らないと言っていますが、中国政府が百万人以上のウイグル人をドナーとする臓器移植産業に関わっていることまで、欧米の人権団体やイギリスのBBC放送でも指摘されているのです。

東村山市長の 人権意識の低さ

東村山市にはハンセン病患者療養所「多磨全生園」があり、ハンセン病患者が受けてきた人権蹂躪(じゅうりん)の歴史を一度と繰り返してはならないという反省から、人権教育、啓発活動をしています。東村山市長は人



東村山駅西口
ロータリーの横断幕

くさのね通信 発行人・矢野ほづみ



町湖田見山多町
口摩田住土山多
多摩田住土山多
廻田住土山多
美富栄萩本恩
担当

政務活動費、
視察旅行は
断固拒否。
即刻廃止を！

行政監視市民派 矢野ほづみのプロフィール

▼愛媛県松山市1947年生まれ／松山東高・東京外大卒／外大全共斗・ノンセクト(無党派)として大学変革を闘う。以後、庶民・弱者の立場を貫く／社会福祉法人 理事長／市社会教育委員／団地自治会長／市川房枝記念会会員(維持員)／「脱原発」／憲法学習会・廣渡塾一期生

▼税金を1円も使わず建設した「りんごっこ保育園」づくりを努力／地元FMラジオ局キャスター／朝木明代議員殺害事件究明に24年／原発いらないネットワーク東村山代表／現職市議会議員。

NO! 古野辺に、埋め立てに、反対70%

2月24日、沖縄で辺野古を埋め立てて米軍基地を新設することに、賛否を問う住民投票が行われた。沖縄県民を対象にした住民投票だったが、結果は70%の住民が埋め立てに反対し、国政与党自民党支持の過半数も反対に投票するという結果に。

だが、政府自民党は投票結果が判明する前に埋め立て工事続行を決めており、沖縄の意志を全く無視する態度。

米軍基地は不要、辺野古埋め立て工事は即時中止を！

いったい誰のための市政？

公明党関係者や市長のとりまきは特別待遇？

多摩湖寿会の 横領事件の顛末は

老人クラブ「多摩湖寿会」で不正会計を百回以上も繰り返して、公金をポケットに入れていた元会計係は8年前まで公明党の市議会議員を務めた人物でした。多摩湖寿会の会長がこの不正会計を問題視し、私も老人クラブは補助金つまり税金で運営されていることから、公金横領の疑いがあるとして、議会を取り上げ、追及してきました。その結果、行政側も

この人物の二重計上などの不正会計を認め、市長はこの問題の責任をとって自らを減給処分としました。けれどもどういっわけか市長はこの元公明党市議を告発するどころか、親密にしているのです。市民からは信じられないとの声が多数上がっています。

この元公明党市議が会長をつとめる任意団体は、市長が特別扱いをして市役所に自動販売機を設置して利益を得ており、その上市庁舎使用料もタダにしてもらっています。

東京地裁も 不正会計を認定

そしてこの横領問題を取り上げ公表したことが、「名誉毀損」として、この元公明党市議は逆干したのか私と多摩湖寿会の会長を訴えてきました。しかし、私たちは裁判で不正会計があったことを証明し、裁判所も私たちの主張を認め、元公明党市議の訴えは全て退けられ、私たちの全面勝訴となりました。

大騒動となった 「憩いの家」 運営委託問題

また、高齢者の施設「憩いの家」を委託運営していた事業者は、市との契約を無視し、法に基づく防火防災対策もせずに6年間も「憩いの家」を違法運営していました。この運営事業の委託料は平成24年には2432万円だった委託料は年々上がり、平成30年には4351万円もの委託料が予算計上されていたため、私が予算委員会で追及しました。結果、この事業者の契約違反や入札に関する疑義が発覚し、この委託事業費は市長が予算を撤回

くさのね通信 編集長・朝木直子



諏訪町
久米川町
秋津町
青葉町
担当

政務活動費、
視察旅行は
断固拒否。
即刻廃止を！

行政監視市民派

朝木直子のプロフィール

▼母・明代議員の殺害事件後、遺志を継ぎ、謀殺事件究明、庶民・弱者の生活を守り、税の使途、行政腐敗を監視するために斗争することを決意。憲法学習会・廣渡塾一期生／市民新聞編集長／現職市議会議員

▼1967年東村山市諏訪町生まれ／化成小・2中・都立武蔵高・慶応大卒／会社勤務／高齢者団体役員／市川房枝記念会会員（維持員）／一円の税金も使わず建設した「認可りんごっこ保育園」開園に努力／「脱原発」／地元FM局で番組づくり／憩いの家委託問題を追及し、市長に予算を撤回させる／朝木明代議員殺害事件究明に24年。

お知らせ

朝木明代議員殺害事件について矢野議員と朝木直子議員が執筆した『東村山の闇』は、「第三書館」で発売中です。書店またはインターネットで注文すれば入手できます。続編「東村山の闇II」(1,500円) 購入ご希望の方はFAXまたは葉書で東村山市民新聞宛にお申し込みください。

【FAX】042-393-2663
【葉書送付先】東村山市本町2-12-13-102
東村山市民新聞社 宛



するといふ前代未聞の事態に。しかしこの契約違反をした事業者に対しても、東村山市が6年間に支払った約2億円の委託料に対し、たった56万円の返還金で事件にフタをしようとしています。このように、市長の取り巻きだけを優遇している市政では、私たち市民の暮らしはちっとも良くなりません。税金は納税者市民のために公平に使わなければなりません！

これからも草の根・朝木直子は不正を許さないために闘います。